

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2017年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年1月12日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年1月12日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	<p>【パトロールチェックシートへの不適合記載漏れについて】 平成29年12月21日に不適合「雨水処理移送ホースからの漏えいについて」が発行されたが、屋外タンク・移送ポンプパトロールチェックシートへ未記載。 記載漏れを発見した平成29年12月26日に屋外タンク・移送ポンプパトロールチェックシート追記訂正。</p>	GⅢ
2	<p>【増設多核種除去設備B系塩酸供給ポンプB系吸込み側フランジボルト付近滴下について】 増設多核種除去設備B系の塩酸供給ポンプ吸込み側フランジボルト付近に滴下を確認。 袋養生を実施。</p>	GⅢ
3	<p>【J2タンクエリアにおける工所用資材仮置きの不備について】 [急結剤の漏えい] 仮置きされている一斗缶から内容物が漏えいしているのを発見。 現場確認の結果、危険物ではないこと確認。 排水路への流出はなく、今回の漏えいによる周辺への影響なし。 [危険物の不適切な仮置き] 工所用資機材の中に、金属容器(一斗缶)に封入された工所用の剥離剤(一般危険物:第四類第三石油類)が紛れ込んでいた。 当該場所の工所用機材仮置表示には危険物の記載はなく、仮置き申請上も危険物はないこととなっていた。 金属容器(一斗缶)を工所用資材仮置き場から危険物倉庫へ移動。</p>	GⅢ